

# S-180 sfida

こんにちは。今月はS-180の事についての多くの情報をお伝えしていきます。

☆6月の特集☆



今回はS-180 sfidaのspecについてお伝えします!!

S-180 sfida

重量		主翼	
搭載者重量[kg]	61.0	翼面積[m <sup>2</sup> ]	51.797
搭載者重量[kg]	51.0	翼長[m]	39.0
機体重量[kg]	77.7	空力平均翼弦[m]	1.413
全備重量[kg]	189.7	アスペクトレシオ	29.365
設定機速[m/s]	7.8	翼面荷重[kg/m <sup>2</sup> ]	3.843
水平尾翼		垂直尾翼	
翼面積[m <sup>2</sup> ]	3.3575	翼面積[m <sup>2</sup> ]	3.525
翼長[m]	3.9	翼長[m]	3.3
モーメントアーム[m]	5.851	モーメントアーム[m]	7.094
静ボリューム比	0.268	静ボリューム比	0.0124
動ファクター比	1.111	動ファクター比	0.0023

前年の機体のS-170 Nexusと大きく変わったところを比較していきたい  
と思います!!

	S-170	S-180	変化量
全備重量[kg]	205.1	189.7	-15.4
機体重量[kg]	80.1	77.7	-2.4
設定機速[m/s]	8.1	7.8	-0.3

機速がさがっているとお知らせしましたが、機速が下がったらま  
ずいんじゃないの！？とお考えの方も多いと思います。

機速が下がって良いことは・・・

## 低出力化！！

つまり、パイロットの出力が減って、パイロットへの負荷が少な  
くなることです。

低出力化を掲げて機体製作をしているので、機速が下がること  
は、私たちにとっても、パイロットにとっても良い事なのです！

パッと見て理解できない方も多いと思うので、  
表の用語について少し解説をしていきたいと思います。

- **空力平均翼弦**・・・翼の特性を計算する場合に翼弦を仮想します。  
その仮想上の翼弦の事。
- **アスペクトレシオ(アスペクト比)**・・・翼の細長さを示す値で、  
翼幅を翼弦長の平均値で割った値。
- **翼面荷重**・・・翼に対して加わる揚力を示す単位。
- **モーメントアーム**・・・支点から力の働く位置に降ろした垂線の  
距離。
- **静ボリューム比**・・・ERの効き方(操舵の効き方)。
- **動ファクター比**・・・操舵の反応性。

次回は・・・

S-180の各班の作業風景や、試験風景をアップする予定です。